

# 愛Pが行く!!!

## 知立市の魅力発見旅 No.4

あいやつ

こんにちはー愛知大学広報サークル愛Pです。第4回目となる今回は、8月24日(土)に行われた「知立よいと祭り」に行ってきましたーそこでボランティア活動をする山本学園の「知立提言委員会」と知立高校の「知立プロジェクト同好会」の皆さんにインタビューをしました。それぞれ今までどのようなボランティア活動をしてきたのか、そこにかける思いなどを伺ってきました。

### 知立よいと祭りとは?

知立よいと祭りとは、今年で20回目となる夏の風物詩である祭りです。知立中学校のグラウンドや市役所の駐車場で行われています。いくつもの学校が参加し、ステージで吹奏楽やダンス、和太鼓などで会場を盛り上げます。

### 山本学園

#### 「知立提言委員会」

山本学園は、今回の祭りで中学生以下の子どもに向けた輪投げの運営をしていました。他にも本部でアンケートを書いてもらう手伝いやステージの補助をしている高校生もいました。

現在メンバーは16人程度で活動しています。主な活動内容はよいと祭りのような知立市のボランティアに関する事です。それらは外で活動することが多く、実は体育会系の一面もあるそうです!

委員会全体としては知立市に対して、本格的に様々なことを発信していきたいと考えているそうです。

3年生は、人を楽しませる喜びを後輩に知ってほしいと話してくれました。「みんなが楽しんでくれたら十分!」と、人の役に立てるとは積極的にしていきたいと強い意欲を持って取り組んでいました。その姿勢を見て、私たちも心を動かされました。



### 知立高校

#### 「知立プロジェクト同好会」

知立高校は、今回の祭りで子ども向けのバスケットボールビンゴをしていました。「小さい子どもが元気にゲームをしているところを見ると



こちらも楽しくなる」と聞いて、お互いに影響を受けているところが良い点だと感じました。また、「ありがとう」と言われると嬉しいし、やりがいを感じる。』と答えてくれました。メンバーは2年生が2人で1年生が5人の計7人で活動しています。

また、夏には熱田のイオンでクッキーを販売したそうです。クッキーには絵をプリントし、16種類を作って販売しました。ちなみに、絵柄は高校生が考えました!

これからやっていきたいこととして、ボランティアは受け身なことが多いので、自ら発信していくことを目標にして、そのために商品を作り、知立市を盛り上げたいと考えていると話してくれました。モットーは『明るい笑顔で地域に愛を』を掲げており、これは先輩の代から受け継いでいます。

### 編集後記

取材の中で、私たちが特に印象に残ったことは、「人と話すことが苦手だったけれど、ボランティアをすることで、話をすることが楽しくなった」と話してくれたことでした。いろいろな人と出会い、刺激を受け、そこで学んだことを活かし、人のために動く。ボランティアの素晴らしさがよく伝わりました。出会った高校生はみんなとても生き生きとしていました!これからの活動に期待をしています。

